



リンゴのみつはどうしてできるの

熟した果実にだけできる

葉はでできた栄養分えいようぶんは、ソルビトールかぢという形かぢで果実かぢつに送られてきて、果実内かぢつで、これをブドウ糖とうや果糖かとうに変えてたくわえています。果実かぢつが熟じゅくしてくると、このはたらきこうそをする酵素こうその力が弱ちからまり、送り込まれたままおくの形かぢで、ソルビトールかぢがたまかぢったものと考えられています。

みつの入る品種はい ひんしゅと入らない品種はい ひんしゅがある

みつの入りはいやすいリンゴひんしゅの品種はいはふじ、デリシャスはいなどで、ほとんど入らないのはゴールデンデリシャスおうりん むつ、つがるしゅうかくじき、王林おく、陸奥はいなどです。収穫時期はいが遅れると、みつの入りはいにくい品種でも入ることがあります。

みつの入る部分はい ぶぶん

リンゴの食べる部分た ぶぶんは、花托かたくといわれる、めしべやおしべをのせている台だいが発達したものです。中心部ちゅうしんぶにあるかたい所とろ（果心部かしんぶ）は、子房しぼうが発達したものです。みつは、この周辺しゅうへんに入ります。（監修・中山 周平）

